

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 新潟県立燕中等教育学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を

含む

所在地 〒959-1201  
新潟県燕市灰方 8 1 5  
E-mail : [school@tsubame-ss.nein.ed.jp](mailto:school@tsubame-ss.nein.ed.jp)  
Website : <http://www.tsubame-ss.nein.ed.jp/>  
幼児児童生徒数 男子 164 名 女子 289 名 合計 453 名  
幼児・児童・生徒の年齢 12歳 ~ 18歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「地域に立脚しつつ地球的視野で活躍できる人材の育成」を学校理念として、ESDを科学、語学を含めたコミュニケーション能力の育成と捉え、ESDの実践を通して、世界の多様な人たちとつながりを持ちながら、地域に貢献することのできる力の育成を目標とした。

具体的には、地域、科学、異文化を柱に、①地元、地域に係わる活動、②科学・環境に係わる学習、③異文化理解に係わる学習を行った。

### ①地元、地域に係わる活動

・ 鋳起銅器製作体験 (前期課程 1 年生)

燕市の伝統工芸である鋳起銅器製作の体験をとおして、地域の伝統文化、職業観、勤労観を養った。

- ・ 職場体験（前期課程 2 年生）  
地元燕市企業でインターンシップ活動を行うことで、地域、職業観、勤労観について学び、将来の生き方や進路についての考察を深めた。

## ②科学・環境に係わる学習

- ・ 全校ウォーク（全校生徒）  
全校生徒が長距離のウォークを行い、地域や環境について学んだ。
- ・ エネルギー学習（前期課程 1 年生）  
発電所を見学し、説明を聞くことで、エネルギーについて学んだ。
- ・ つくば科学の旅（前期課程 1 年生）  
筑波学園都市にて筑波大学、JAXA を訪問することにより、地域、科学観、宇宙、日本の技術力について学んだ。
- ・ 種子島修学旅行（前期課程 2 年生）  
種子島にて民泊を行い、種子島宇宙センターを訪問することにより、地域、伝統文化、宇宙、日本の技術について学んだ。

## ③異文化理解に係わる学習

- ・ ユネスコスクール講演会（全校生徒）  
平成 29 年 4 月 22 日（土）に新潟市ユネスコ協会事務局長 横山恵里子様から講演をいただき、モザンビークでの教育活動の経験や海外支援事業の問題点について学んだ。
- ・ 県内大学留学生ふれあい事業（前期課程 3 年生、後期課程 4・5 年生）  
英語が堪能な新潟大学の中国人留学生 2 名に年間複数回来校していただき、中国に関する情報や日本文化の印象を話してもらった。また、3・4 年生は日本文化を留学生に英語で伝える活動を行い、表現方法について助言をいただいた。後期課程 5 年生では、中国、日本及び世界が抱えている社会問題について生徒と議論していただき、その解決策や将来自分たちが果たすべき役割について意見交換を行った。
- ・ 新・貿易ゲーム（前期課程 3 年生）  
開発教育協会と神奈川県国際交流協会が制作した教材を使用し、学級単位で活動した。係の生徒は事前に活動について教諭と打合せをして、当日進行をした。自由貿易や経済のグローバル化が引き起こすさまざまな問題、南北格差や環境問題の解決に向けて国際協力のあり方や自分たち一人ひとりの行動について考える機会となった。



①地元、地域に係わる活動  
鎚起銅器製作体験（前期課程 1 年生）



②科学・環境に係わる学習  
全校ウォーク（全校生徒）



②科学・環境に係わる学習  
エネルギー学習（前期課程 1 年生）



③異文化理解に係わる学習  
ユネスコスクール講演会（全校生徒）



③異文化理解に係わる学習  
県内大学留学生ふれあい事業  
（前期課程 3 年生、後期課程 5 年生）



③異文化理解に係わる学習  
新・貿易ゲーム（前期課程 3 年生）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・ ユネスコスクール公式 <http://www.unesco-school.mext.go.jp/>
- ・ 日本ユネスコ協会連盟 <http://unesco.or.jp/>
- ・ sustainable development goals  
<http://www.un.org/sustainabledevelopment/>
- ・ 新 貿易ゲーム（開発教育協会・神奈川県国際交流協会）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間「ライフスタディー」の授業目標の一つに位置づけている。生徒一人ひとりが今取り組んでいることが地球で起きている問題に何らかの寄与をすること、さらにはその活動が他校の生徒や社会の人々と情報のやりとりをすることで国際的に働きかけていることを理解し、未来に向けて継続的に活動していく学習姿勢を醸成する。各学年において、発達段階に応じた学習活動を計画し、6年間をとおして生徒が知識と経験を積み重ねていくように工夫している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校行事として、「ユネスコスクール講演会」を毎年4月に教務部が立案し、実施している。学年を超えて教務部が担当することで、毎年確実に実施することができる。また、保護者にも講演会に参加していただき、生徒と一緒に社会問題について考えていただいている。

また、文化祭において、毎年グローバル（英会話）部がフェアトレード商品を販売している。部活動を学校行事と合わせることで、生徒や来校する保護者らに対してPR活動がより効果的となっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校では毎年、保護者を対象として学校評価を実施している。また、地域の方や教育関係の方からなる学校評議員会も年2回行っている。それらの意見からは、本校がユネスコスクールである認知度は十分だとは言えない。今後、活動自体の見直しと伝達方法の見直しが必要である。

改善策としては、ユネスコスクール講演会を案内する家庭配付文書の内容を具体的に記述し、魅力的なものにするなどの工夫が必要である。また、学校ホームページを効果的に利用して様子を周知することで、次回の参加者数増加につなげたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

グローバル（英会話）部が毎年実施している「寺子屋プロジェクト」に係わる書き損じはがきの回収と募金の呼びかけの集計結果、文化祭にて販売しているフェアトレード商品の売り上げと募金の集計結果については、校内新聞を作成して生徒玄関付近に掲示している。生徒からは来年も協力したいという声が多く聞かれる。このことがグローバル部員のモチベーションを刺激しており、次の活動への原動力となっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
(200字程度)  
※チェック事項 2-3 に対応

生徒会・福祉委員会が校内で収集したペットボトルキャップと募金は燕市社会福祉協議会、三条市の業者を通じて「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCVC）」へ渡している。

また、新潟大学から留学生2名に毎年8月から2月までに10回来校してもらい、国際問題や社会問題について講義をしてもらっている。

グローバル（英会話）部の活動である書き損じはがきの回収、フェアトレード商品の売上金と募金は、新潟市ユネスコ協会へ届けている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）  
※チェック事項 2-4 に対応

新潟県内すべての中等教育学校・中高一貫校の校長、教頭、教務担当、進路指導担当が集まり行っている「新潟県中高一貫教育総合研究会」にて、各校の生徒会役員の生徒も集まりワークショップを行っている。その中にはユネスコスクール加盟校も含まれており、各校の活動状況に関する意見交換が行われている。

また、後期課程4年が参加するオーストラリア研修では、毎年現地の3校を訪れ、情報交換を行っている。加盟校ではないが、互いの生徒にとって良い情報交換の機会となっている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

本校は多くの生徒が大学進学をしている。近年進む大学の学部学科再編の中で、生徒はより国際的な学部学科への進学を希望するようになってきている。中にはアメリカ合衆国州立大学へ進学した卒業生もいる。また、国内大学在学中に留学をするなど、世界的視野で活動をしている卒業生も多い。オーストラリアから来校する留学生のホームステイ受け入れを希望する御家庭も多い。生徒も保護者も異文化理解や外国人との交流に対する抵抗は年々少なくなっている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

学校理念「地域に立脚しつつ地球的視野で活躍できる人材の育成」のもと、ESDを科学、語学を含めたコミュニケーション能力の育成と捉え、ESDの実践を通して、世界の多様な人たちとつながりを持ちながら、地域に貢献することのできる力の育成を目標とする。

具体的には、地元・地域に係わる活動、科学・環境に係わる学習、異文化理解に係わる学習を行う。

また、福祉活動として、書き損じはがき回収、ペットボトルキャップ回収、募金活動を行う。

(1) 地元・地域に係わる活動

- ・ 鋳起銅器製作体験（前期課程 1 年生）
- ・ 職場体験（前期課程 2 年生）

(2) 科学・環境に係わる学習

- ・ 全校ウォーク（全校生徒）
- ・ エネルギー学習（前期課程 1 年生）
- ・ つくば科学の旅（前期課程 1 年生）
- ・ 種子島修学旅行（前期課程 2 年生）

(3) 異文化理解に係わる学習

- ・ ユネスコスクール講演会（全校生徒）
- ・ 県内大学留学生ふれあい事業（前期課程 3 年生、後期課程 4・5 年生）
- ・ 新・貿易ゲーム（前期課程 3 年生）

(4) 福祉活動

- ・ 書き損じはがき回収（グローバル（英会話）部）
- ・ ペットボトルキャップ回収（生徒会・福祉委員会）
- ・ フェアトレード商品販売（グローバル（英会話）部）